注３ **大学番号：国０６６**

意見伺い

［平成27年度設置］
計画の区分：学部の設置
注１

山口大学　国際総合科学部
注２

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人　山口大学
平成２８年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画戦略部企画・評価課企画係
職名・氏名	企画係長（キカクカカリチョウ）　土田（ツチダ）　誠（マコト）
電話番号	０８３－９３３－５９５６
（夜間）	０８３－９３３－５９５６
ＦＡＸ	０８３－９３３－５９５９
ｅ－mail	sh041@yamaguchi-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

目次

国際総合科学部

＜国際総合科学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人　山口大学

（２）大　学　名

山口大学

（３）大学の位置

〒７５３－８５１１
山口県山口市吉田１６７７－１

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
学　　長	（ オカ　マサアキ ） 岡　正朗 （平成26年4月1日）		
学 部 長	（イトナガ　マサヒロ） 糸長　雅弘 （平成27年4月1日）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２６年度に報告済の内容　→（26）
平成２８年度に報告する内容　→（28）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・**「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。**

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２５年度開設の４年制の学科の場合（平成２８年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際総合科学部 国際総合科学科 学士（学術）	年 4	人 100	年次 人 0	人 400	

（注）・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	人 100 (　) [　]	人	人 100 (　) [　]	人	人 (　) [　]	人	人 (　) [　]	人	1.04倍	
志願者数	184 (　) [　]	(　) [　]	310 (　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]		
受験者数	135 (　) [　]	(　) [　]	228 (　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]		
合格者数	115 (　) [　]	(　) [　]	117 (　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]		
Ｂ　入学者数	104 (　) [　]	(　) [　]	105 (　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.04		1.05							

（注）・　数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　[　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　　] (　　) 104	[　　] (　　)	[　　] 105	[　　]	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　]	[　　]	
２年次			[　　] (　　) 104	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
３年次					[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	
計	[　　] (　　) 104		[　　] (　　) 209		[　　] (　　)		[　　] (　　)		

（注）・　数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数（内訳）			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合（a/b）
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成27年度入学者	104 人	0 人	平成27年度	人	人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度入学者	105 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成30年度入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合　計	209 人	0 人					0 %

（注）・ 数字は，平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜国際総合科学部　国際総合科学科＞

（１） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
基礎科目							5	3				担当教員の昇任(28) 担当　星野　晋(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可
	国際総合科学総論	1前①②	2			4	4	4	2			オムニバス
	科学技術史	1前①	1			1						
	科学技術哲学	1後③	1					1				
											兼 7 ~~兼 6~~	教育効果を高めるため，担当教員を変更(28) ~~教育効果を高めるため，担当教員を変更(27)~~
	環境と人間	1前①	1								~~兼 1~~	
	食と生命	1前②	1								兼 1 兼 7 ~~兼 5~~	教育効果を高めるため，担当教員を変更(28) ~~教育効果を高めるため，担当教員を変更(27)~~
	社会と医療	1前①	1								~~兼 1~~	
						1						担当教員の昇任(28) 担当　上田　真寿美(教授) 平成28年6月　提出予定
		1前③										教育効果を高めるため，開講期を変更(27)
	運動健康科学	~~1前②~~	1				~~1~~					
							1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当 小川　仁志(准教授) 平成28年6月　提出予定
	哲学	1前①	1								兼 1	
	歴史学	1前②	1								兼 1	
	日本文化論	2前①	1				1					
	人間の発達と育成１（宗教学）	1前①	1								兼 1	
	文化の継承と創造１（文化人類学）	1後③	1			1						
	人間の発達と育成２（言語学）	1前②	1			1						
	文化の継承と創造２（表象文化論）	1後④	1				1					
	政治学	1後④	1								兼 1	
		2前①					1					教育効果を高めるため，開講期を変更し，担当教員を追加(28) 担当　小川　仁志(准教授) 平成28年6月　提出予定
	現代アジア論	2前②	1								兼 1	
	経済と法１（経済学）	1前①	1				1					
	経済と法２（経営学）	1後③	1				1					
	経済と法３（法学）	1後④	1								兼 1	
	社会学	1後③	1								兼 1	
科学技術リテラシー科目											兼 3	教育効果を高めるため，担当教員を変更(27)
	自然科学１	1後③	1								~~兼 1~~ 兼 1 ~~兼 2~~	本科目について兼担教員1名で担当することとしたため，担当教員を変更（28） ~~教育効果を高めるため，担当教員を変更(27)~~
	自然科学２	1後④	1								~~兼 1~~	

科学技術リテラシー科目	ロジカルシンキング入門	1前②	1			1		1	2			
	ロジカルシンキング演習	1前②	1			1		1	2			
	統計学入門Ⅰ	1前①	1			~~1~~			1			「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員を採用したことに伴い担当を変更(27) 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
	統計学入門Ⅱ	1前②	1			~~1~~			1			「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員を採用したことに伴い担当を変更(27) 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
	統計学演習Ⅰ	1前①	1			~~1~~			1			「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員を採用したことに伴い担当を変更(27) 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
	統計学演習Ⅱ	1前②	1			~~1~~			1			「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員を採用したことに伴い担当を変更(27) 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
	デザイン科学入門Ⅰ	1前①②	1				1					
	デザイン科学入門Ⅱ	1後③④	1					1				
	デザイン科学演習Ⅰ	1前①	1				1	2				
	デザイン科学演習Ⅱ	1前②	1				1	2				
	デザイン科学演習Ⅲ	1後③	1				1	2				
	デザイン科学演習Ⅳ	1後④	1				1	2				
	科学技術と社会（知的財産入門Ⅰ）	1後④	1			1						
	知的財産入門Ⅱ	2前①	1			1						
	知的財産演習Ⅰ	1後④	1			1						
	知的財産演習Ⅱ	2前①	1			1						
	情報セキュリティ・モラル	1前②	1			1						
	情報リテラシー演習	1前①	1				2					
	ICT演習Ⅰ	1後③	1				2					
	ICT演習Ⅱ	1後④	1				2					
	物質・エネルギー・環境Ⅰ	2前①	1				1					
	物質・エネルギー・環境Ⅱ	2前②	1				1					
	保健・医療・福祉Ⅰ	2前①	1			1	~~1~~					担当教員の昇任(28) 担当　上田　真寿美(教授) 平成28年6月　提出予定 担当教員の昇任(28) 担当　上田　真寿美(教授) 平成28年6月　提出予定
	保健・医療・福祉Ⅱ	2前②	1				~~1~~					
	生物多様性Ⅰ	2前①	1				1					
	生物多様性Ⅱ	2前②	1				1					
	バイオテクノロジーⅠ	2前①	1				1					
	バイオテクノロジーⅡ	2前②	1				1					

コア科目		科学技術コミュニケーション	3後③	2						1			
		知的財産と技術経営	3後③	2			1						
		日本企業文化理解	3後③	2				1					
		ビッグデータと経営戦略	3後③	2				1					
												兼 1	担当教員が辞任したため，兼任教員に担当を変更（28）
		デザインの心理学	3後③	2				~~1~~					
展開科目	科学技術・デザイン論科目	科学技術社会論	3後④		2					1			
		科学技術社会史	4前①		2		1						
		科学技術倫理	4前①		2				1				
		科学技術思想	3後④		2				1				
		科学技術とリスクコミュニケーション	3後④		2		1	1		1			オムニバス
		科学技術と公共哲学	4前②		2			1		1			オムニバス
		科学技術政策	4前①		2					1			
		情報化社会論	4前②		2					1			
		国際知財戦略論	4前①		2							兼 1	
		地球環境と持続可能性	4前①		2			1					
		生態環境論	3後④		2		1						
		インクルーシブデザイン	3後④		2				1				
		メディア・デザイン	3後④		2			1					
												兼 1	担当教員が辞任したため，兼任教員に担当を変更（28）
		コミュニケーションと創造的思考	4前①		2			~~1~~					
		ビジュアル・コミュニケーション・デザイン	4前②		2				1				
								1					担当教員の昇任(28) 担当　星野　晋(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可
		コミュニティ・デザイン	3後④		2				~~1~~				
		データ分析と統計学	4前②		2					1			「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員を追加し，更なる理系科目の充実を図るため科目を追加（27） 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
							4	3					教育効果を高めるため担当教員を追加，担当教員の辞任(28) 担当　崎山　智司　(教授) 平成28年6月　提出予定
		科学技術論演習Ⅰ	2後③		2		~~3~~	~~4~~	3	2			
							4	3					教育効果を高めるため担当教員を追加，担当教員の辞任(28) 担当　崎山　智司　(教授) 平成28年6月　提出予定
													「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員の更なる充実を図るため，教員を追加（27） 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		科学技術論演習Ⅱ	2後④		2		~~3~~	~~4~~	3	2			
							4	3					教育効果を高めるため担当教員を追加，担当教員の辞任(28) 担当　崎山　智司　(教授) 平成28年6月　提出予定
		科学技術論演習Ⅲ	3前①		2		~~3~~	~~4~~	3	2			
							4	3					教育効果を高めるため担当教員を追加，担当教員の辞任(28) 担当　崎山　智司　(教授) 平成28年6月　提出予定
		科学技術論演習Ⅳ	3前②		2		~~3~~	~~4~~	3	2			

展開科目	文化・社会論科目	現代日本思想論	3後④		2			1				
		現代日本文化論	3後④		2			1				
		現代日本学	3後④		2					1		
		近現代日本史	3後④		2						兼 1	
		現代日本芸術論	3後④		2		1					
		現代日本言語論	3後④		2		1					
		現代アジア文化論	3後④		2		1	2				オムニバス
		比較文学・文化論	3後④		2			1				
		国際哲学	4前②		2			1				
		国際芸術文化論	4前①		2		1					
		国際メディア論	3後④		2		1					
		広告宣伝論	4前②		2		1					
		現代日本政治論	3後④		2						兼 1	
		環境経済論	3後④		2			1				
		国際政治論	4前①		2						兼 1	
		国際経済論	4前②		2			1				
		知的財産法	3後④		2		1					
		経営組織論	4前①		2			1				
							1					担当教員の昇任(28) 担当　上田　真寿美(教授) 平成28年6月　提出予定
		保健医療と現代国際社会	4前②		2			~~1~~				
		文化・社会論演習Ⅰ	2後③		2		2	2				
		文化・社会論演習Ⅱ	2後④		2		1	2				
								2				担当教員の昇任(28) 担当　星野　晋(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可
		文化・社会論演習Ⅲ	3前①		2		1	1	~~1~~			
								2				担当教員の昇任(28) 担当　星野　晋(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可
		文化・社会論演習Ⅳ	3前②		2		1	1	~~1~~			
コミュニケーション科目	英語コミュニケーション科目							3			兼 1	教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
								~~2~~				教育効果を高めるために少人数クラスとし、教員を追加（27） 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER（准教授） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		TOEIC準備	1前①	1				~~1~~				
								3			兼 1	教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
								~~2~~				教育効果を高めるために少人数クラスとし、教員を追加（27） 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER（准教授） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		TOEIC Basic Study	1前②	1				~~1~~				
								2				教育効果を高めるために少人数クラスとし、教員を追加（27） 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER（准教授） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		Basic Speaking	1後③	1				~~1~~				

コミュニケーション科目	英語コミュニケーション科目							2					教育効果を高めるために少人数クラスとし、教員を追加（27） 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER（准教授） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		Basic Listening	1後③	1				~~1~~ 1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Basic Writing	1後④	1								兼 1	
		Basic Reading	1後④ 未開講	1			1						海外の大学の受入れ要件に対応するため，代替科目としてIELTS STUDY1を開講(28)
			~~1前①~~					2					教育効果を高めるため，開講期を変更し、少人数クラスとするため，教員を追加（27） 担当　藤原 まみ（准教授） 設置計画時　教員審査済 判定　可
		TOEFL Study 1	~~1後④~~		1			~~1~~ 1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Speaking 1	2前①		1			2				兼 1	教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Listening 1	2前① 1後④		1			~~1~~					教育効果を高めるため，開講期を変更(28)
		Writing 1	~~2前①~~		1			1					
		Reading 1	2前①		1			1 2					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Speaking 2	2前②		1			~~1~~ 2					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Listening 2	2前② 2前①		1			~~1~~					教育効果を高めるため，開講期を変更(28)
		Writing 2	~~2前②~~		1			1					
		Reading 2	2前②		1			1 1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		TOEIC Study 1	2前①		1			1				兼 1	教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		TOEIC Study 2	2前②		1							兼 1	

コミュニケーション科目	英語コミュニケーション科目		未開講										海外の大学の受入れ要件に対応するため，代替科目としてIELTS STUDY2を開講(28)
			~~1前②~~					2					教育効果を高めるため，開講期を変更し、少人数クラスとするため，教員を追加（27） 担当　藤原 まみ（准教授） 設置計画時　教員審査済 判定　可
		TOEFL Study 2	~~1前①~~		1			~~1~~					
			未開講										海外の大学の受入れ要件に対応するため，代替科目としてIELTS STUDY3を開講(28)
			~~1前②~~										集中 教育効果を高めるため， 開講期を変更（27）
		TOEFL Study 3	~~1後④~~		1			2					
		TOEIC Study 3	3後③		1			1					
		TOEIC Study 4	3後④		1			1					
		TOEIC Study 5	4前①		1			1					
		TOEIC Study 6	4前①		1			1					
								1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		TOEIC Study 7	4前②		1							兼 1	
								1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		TOEIC Study 8	4前②		1							兼 1	
		IELTS Study1	1前①		1			3					海外の大学の受入れ要件に対応するため，科目を追加(28) 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER(准教授)， 藤原　まみ　(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		IELTS Study2	1前②		1			3					海外の大学の受入れ要件に対応するため，科目を追加(28) 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER(准教授)， 藤原　まみ　(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		IELTS Study3	1前③		1			3					海外の大学の受入れ要件に対応するため，科目を追加(28) 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER(准教授)， 藤原　まみ　(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定

コミュニケーション科目	実践コミュニケーション科目	言語学習の理論と実践Ⅰ	1後③	1					1				
		言語学習の理論と実践Ⅱ	1後④		1				1				
		コミュニケーション概論	2前①	1				1					
		中国語Ⅰ	2前①		1							兼 1	
		中国語Ⅱ	2前②		1							兼 1	
		韓国語Ⅰ	2前①		1							兼 1	
		韓国語Ⅱ	2前②		1							兼 1	
		Presentation 1	2前②	1			1						
							8	9	4				担当教員の昇任、追加及び辞任(28) 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　崎山　智司(教授) ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
										4			「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員の更なる充実を図るため，教員を追加（27） 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		多文化コミュニケーションセミナー	2前②	1			~~7~~	~~8~~	~~5~~	~~3~~			
			2前①②					2					教育効果を高めるため，開講期を変更し、少人数クラスとするため，教員を追加（28） 担当　EDWARDS NATHANIEL TYLER(准教授)， 藤原　まみ(准教授) 平成28年2月　教員審査済 判定　可
		Academic Writing	~~2前②~~ 3後③	2						1			教育効果を高めるため，開講期を変更(28)
		Translation	~~3後④~~ 3後③		1					1			教育効果を高めるため，開講期を変更(28)
		Interpretation	~~3後④~~		1					1			
		デザイン英語	3後④		2				1				
		Comprehensive English of Science and Technology 1	3後③		1			1					
		Comprehensive English of Science and Technology 2	3後④		1			1					
		Comprehensive English of Science and Technology 3	4前①		1			1					
								1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Comprehensive English of Culture and Society 1	3後③		1							兼 1	
								1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Comprehensive English of Culture and Society 2	3後④		1							兼 1	
								1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Comprehensive English of Culture and Society 3	4前①		1							兼 1	
		Comprehensive English of Science and Technology 4	4前②		1			1					
								1					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		Comprehensive English of Culture and Society 4	4前②		1							兼 1	
		Presentation 2	3後③	2			1						
								4					教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
		グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ	2後③		2		1	~~3~~	1	1			

コミュニケーション科目	実践コミュニケーション科目	グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ	2後④		2		1	4 ~~3~~	1	1			教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN（准教授） 平成28年6月　提出予定
		グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ	3前①		2		1	4 ~~3~~	1	1			教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN（准教授） 平成28年6月　提出予定
		グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ	3前②		2		1	4 ~~3~~	1	1			教育効果を高めるために担当教員を追加（28） 担当　ARIEL SORENSEN（准教授） 平成28年6月　提出予定
課題解決科目		基礎セミナー	1前①②	2			10 ~~8~~	12	4 ~~5~~	4 ~~3~~			担当教員の昇任，追加及び辞任（28） 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　崎山　智司（教授）， 上田　真寿美（教授）， ARIEL SORENSEN（准教授） 平成28年6月　提出予定 「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員の更なる充実を図るため，教員を追加（27） 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		山口と世界	1後④	1			10 ~~8~~	12	4 ~~5~~	4 ~~3~~			担当教員の昇任，追加及び辞任（28） 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　崎山　智司（教授）， 上田　真寿美（教授）， ARIEL SORENSEN（准教授） 平成28年6月　提出予定 「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員の更なる充実を図るため，教員を追加（27） 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
		知の広場（キャリアデザインⅠ）	1前①②	1								兼 1	
		課題解決能力演習	1後③④	2			10 ~~8~~	12	4 ~~5~~	4 ~~3~~			担当教員の昇任，追加及び辞任（28） 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　崎山　智司（教授）， 上田　真寿美（教授）， ARIEL SORENSEN（准教授） 平成28年6月　提出予定 「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員の更なる充実を図るため，教員を追加（27） 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可

課題解決科目							1					担当教員の昇任(28) 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可
	社会調査法Ⅰ	1後③	1			1		~~1~~				
	社会調査法Ⅱ	1後④	1								兼 1	
							1					担当教員の昇任(28) 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可
	地域理解・連携演習Ⅰ	2前①②	2			1		~~1~~				
							1					担当教員の昇任(28) 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可
	地域理解・連携演習Ⅱ	3後③	1			1		~~1~~				
	キャリア教育（キャリア・デザインⅡ）	3後③④	1								兼 1	
	グローバル・インターンシップ演習Ⅰ	2後③		2		1						
	グローバル・インターンシップ演習Ⅱ	2後④		2		1						
	グローバル・インターンシップ演習Ⅲ	3前①		2		1						
	グローバル・インターンシップ演習Ⅳ	3前②		2		1						
						10		4				担当教員の昇任，追加及び辞任(28) 担当　星野　晋（准教授） 平成28年2月　教員審査済 判定　可 担当　崎山　智司(教授)， 上田　真寿美(教授)， ARIEL SORENSEN(准教授) 平成28年6月　提出予定
									4			「その他意見」に対応し，理系のバックグラウンドを有する教員の更なる充実を図るため，教員を追加（27） 担当　PARK HEEWON（助教） 平成27年2月　教員審査済 判定　可
	プロジェクト型課題解決研究	4通	10			~~8~~	12	~~5~~	~~3~~			

（注）・　設置計画書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２８年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度設置以前）についても，設置時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 77	科目 86	科目 0	科目 163	科目 77 [ ]	科目 90 [4]	科目 0 [ ]	科目 167 [ ]	

（注） ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・ 資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	言語学習の理論と実践Ⅱ	1	1前④	一般	選択	担当教員が産後休暇を取得したため，代替措置として平成28年度に開講した。
2	TOEFL Study1	1	1前①	一般	選択	海外大学の受入れ要件がTOEFLからIELTSに変更したため未開講とし，代替措置として「IELTS Study1」を新たに開講した。
3	TOEFL Study2	1	1前②	一般	選択	海外の大学の受入れ要件がTOEFLからIELTSに変更したため未開講とし，代替措置として「IELTS Study2」を新たに開講した。
4	TOEFL Study3	1	1前②	一般	選択	海外の大学の受入れ要件がTOEFLからIELTSに変更したため未開講とし，代替措置として「IELTS Study3」を新たに開講した。

（注）・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
該当の科目は、それぞれ適切な代替措置を講じており，支障はないと考える。
「学生への周知方法」
学生用の掲示板及びメーリングリストを利用して周知している。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{2.45\%}$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	414.219㎡	0㎡	0㎡	414.219㎡	
	運動場用地	127.053㎡	0㎡	0㎡	127.053㎡	
	小計	541.272㎡	0㎡	0㎡	541.272㎡	
	その他	58.554㎡	0㎡	0㎡	58.554㎡	
	合計	599.826㎡	0㎡	0㎡	599.826㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		225.107㎡ (225.107㎡)	0㎡ (　　㎡)	0㎡ (　　㎡)	225.107㎡ (225.107㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	106室	134室	404室	14室 (補助職員　2人)	2室 (補助職員　人)	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	国際総合科学部　国際総合科学科	24室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	国際総合科学部	1,592,014〔464,407〕 (1,592,014〔464,407〕)	42,662〔19,927〕 (42,662〔19,927〕)	11,237〔9,614〕 (11,237〔9,614〕)	7,616 (7,616)	23 (23)	0 (0)	
	計	1,592,014〔464,407〕 (1,592,014〔464,407〕)	42,662〔19,927〕 (42,662〔19,927〕)	11,237〔9,614〕 (11,237〔9,614〕)	7,616 (7,616)	23 (23)	0 (0)	大学全体

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	13,063㎡	1,568	1,500,973	大学全体

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	6,956㎡	陸上競技場，野球場，サッカー場　他	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	国費（運営費交付金）
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	

（注）・　設置時の計画を，設置計画書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２８年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（28）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　**「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。**

４　既設大学等の状況

大学の名称	山口大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地１	
人文学科	4	185	－	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	平成５年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	平成５年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地１	
学校教育教員養成課程	4	180	－	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	－	－	－	学士（教育学）	－	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	－	－	－	学士（教育学）	－	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	－	－	－	学士（教育学）	－	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	－	－	－	学士（教育学）	－	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地１	
経済学科	4	130	－	440	学士（経済学）	－	昭和24年度		
経営学科	4	165	－	590	学士（経済学）	－	昭和24年度		
国際経済学科	4	－	－	－	学士（経済学）	－	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	－	－	－	学士（法学）	－	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	－	160	学士（経済学）	－	平成17年度		
商業教員養成課程	4	－	－	－	学士（経済学）	－	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地１	
数理科学科	4	50	－	200	学士（理学）	1.05	平成７年度		
物理・情報科学科	4	60	－	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	－	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	－	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串１丁目１番１号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学，保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台２丁目16番１号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成２年度		
社会建設工学科	4	80	－	320	学士（工学）	1.03	平成２年度		
応用化学科	4	90	－	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成２年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	－	220	学士（工学）	1.05	平成８年度		
循環環境工学科	4	55	－	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地１	
生物資源環境科学科	4	50	－	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	－	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	－	－	－	学士（獣医学）	－	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地１	
獣医学科	6	30	－	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		

国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地１	
国際総合科学科	4	100	－	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		
人文科学研究科								山口県山口市吉田1677番地１	
人文科学専攻	2	8	－	8	修士（文学）	0.25	平成28年度		
地域文化専攻	2	－	－	－	修士（文学）	－	昭和60年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	－	－	－	修士（文学）	－	昭和60年度		平成28年度より学生募集停止
教育学研究科								山口県山口市吉田1677番地１	
学校教育専攻	2	10	－	23	修士（教育学）	1.10	平成３年度		
教科教育専攻	2	17	－	45	修士（教育学）	1.05	平成３年度		
教職実践高度化専攻	2	14	－	14	教職修士（専門職）	1.07	平成28年度		
経済学研究科								山口県山口市吉田1677番地１	
経済学専攻	2	16	－	32	修士（経済学）	0.24	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	－	20	修士（経済学）	0.50	平成７年度		
医学系研究科（医学博士）								山口県宇部市南小串１丁目１番１号	
医学専攻	4	33	－	33	博士（医学）	1.09	平成28年度		
システム統御医学系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	－	－	－	博士（医学）	－	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期）								山口県宇部市南小串１丁目１番１号	
応用医工学系専攻	2	－	－	－	修士（医工学）	－	平成13年度		平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	－	－	－	修士（生命科学，学術）	－	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	－	24	修士（保健学）	1.37	平成17年度		
医学系研究科（博士後期）								山口県宇部市南小串１丁目１番１号	
応用医工学系専攻	3	－	－	－	博士（医工学）	－	平成13年度		平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	－	－	－	博士（生命科学，学術）	－	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	－	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期）								山口県山口市吉田1677番地１	
基盤科学系専攻	2	38	－	38	修士（理学）	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台２丁目16番１号	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	－	42	修士（理学）	0.80	平成28年度		
化学系専攻	2	83	－	83	修士（工学，学術）	0.87	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	－	107	修士（工学）	1.00	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	－	60	修士（工学）	1.01	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	－	74	修士（工学，学術）	0.74	平成28年度		
農学系専攻	2	42	－	42	修士（農学，生命科学）	0.71	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地１	
自然科学系専攻	3	7	－	7	博士（理学，学術）	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台２丁目16番１号	
物質工学系専攻	3	8	－	8	博士（工学，学術）	0.12	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	－	10	博士（工学，学術）	0.70	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	－	12	博士（工学，学術）	0.66	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	－	7	博士（医工学，生命科学，学術）	0.85	平成28年度		

理工学研究科（博士前期）								山口県山口市吉田1677番地１	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	－	－	－	修士（理学）	－	平成９年度	山口県宇部市常盤台２丁目16番１号	
物理・情報科学専攻	2	－	－	－	修士（理学）	－	平成18年度		
地球科学専攻	2	－	－	－	修士（理学）	－	平成18年度		
機械工学専攻	2	－	－	－	修士（工学）	－	昭和41年度		
社会建設工学専攻	2	－	－	－	修士（工学）	－	平成９年度		
物質化学専攻	2	－	－	－	修士（工学）	－	平成18年度		
電子デバイス工学専攻	2	－	－	－	修士（工学）	－	平成18年度		
電子情報システム工学専攻	2	－	－	－	修士（工学）	－	平成18年度		
感性デザイン工学専攻	2	－	－	－	修士（工学）	－	平成12年度		
環境共生系専攻	2	－	－	－	修士（工学，理学）	－	平成18年度		
理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地１	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	－	－	－	博士（理学，工学，学術）	－	平成18年度	山口県宇部市常盤台２丁目16番１号	
システム設計工学系専攻	3	－	－	－	博士（工学，学術）	－	平成18年度		
物質工学系専攻	3	－	－	－	博士（工学，学術）	－	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	－	－	－	博士（工学，学術）	－	平成18年度		
環境共生系専攻	3	－	－	－	博士（工学，理学，学術）	－	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地１	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	－	－	－	修士（農学）	－	平成７年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地１	
東アジア専攻	3	10	－	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台２丁目16番１号	
技術経営専攻	2	15	－	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	－	48	博士（獣医学）	1.56	平成２年度	山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南４丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市郡元１丁目21番24号	

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２８年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
　※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
　※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜国際総合科学部　国際総合科学科＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	福屋利信 高	平成27年4月	国際総合科学総論※ 現代アジア文化論※ 国際芸術文化論 Basic Reading 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 グローバル・インターンシップ演習Ⅰ グローバル・インターンシップ演習Ⅱ グローバル・インターンシップ演習Ⅲ グローバル・インターンシップ演習Ⅳ プロジェクト型課題解決研究						
専	教授	糸長　雅弘	平成27年4月	国際総合科学総論※ 統計学入門Ⅰ 統計学入門Ⅱ 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ 情報セキュリティ・モラル 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	専	教授	糸長　雅弘	平成27年4月	国際総合科学総論※ 情報セキュリティ・モラル 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	「統計学入門Ⅰ」，「統計学入門Ⅱ」，「統計学演習Ⅰ」及び「統計学演習Ⅱ」については，平成27年2月のPARK HEEWON助教のAC教員審査の可に伴い，担当を交代(27)
専	教授	菊屋　吉生	平成27年4月	現代日本芸術論 文化・社会論演習Ⅰ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	教授	木村　友久	平成27年4月	国際総合科学総論※ 科学技術と社会（知的財産入門Ⅰ） 知的財産入門Ⅱ 知的財産演習Ⅰ 知的財産演習Ⅱ 知的財産と技術経営 科学技術とリスクコミュニケーション※ 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 知的財産法 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						

					専	教授	崎山　智司	平成28年9月	科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	平成28年6月 変更書提出予定（28）
専	教授	有元　光彦	平成27年4月	人間の発達と育成２（言語学） 現代日本言語論 文化・社会論演習Ⅰ 文化・社会論演習Ⅱ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	教授	川﨑　　勝	平成27年4月	国際総合科学総論※ 科学技術史 ロジカルシンキング入門 ロジカルシンキング演習 科学技術社会論 科学技術社会史 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	教授	LOEHR MARC	平成27年4月	国際メディア論 広告宣伝論 Presentation 1 多文化コミュニケーションセミナー Presentation 2 グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	教授	北西　功一	平成27年4月	文化の継承と創造１（文化人類学） 生態環境論 文化・社会論演習Ⅲ 文化・社会論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 社会調査法Ⅰ 地域理解・連携演習Ⅰ 地域理解・連携演習Ⅱ プロジェクト型課題解決研究						
専	准教授	上田　真寿美	平成27年4月	運動健康科学 保健・医療・福祉Ⅰ 保健・医療・福祉Ⅱ 保健医療と現代国際社会 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	専	教授	上田　真寿美	平成28年10月	運動健康科学 保健・医療・福祉Ⅰ 保健・医療・福祉Ⅱ 保健医療と現代国際社会 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	平成28年6月 変更書提出予定（28）
専	講師	星野　　晋	平成27年4月	国際総合科学総論※ コミュニティ・デザイン 文化・社会論演習Ⅲ 文化・社会論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 社会調査法Ⅰ 地域理解・連携演習Ⅰ 地域理解・連携演習Ⅱ プロジェクト型課題解決研究	専	准教授	星野　　晋	平成28年4月	国際総合科学総論※ コミュニティ・デザイン 文化・社会論演習Ⅲ 文化・社会論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 社会調査法Ⅰ 地域理解・連携演習Ⅰ 地域理解・連携演習Ⅱ プロジェクト型課題解決研究	平成28年2月 教員審査済（28）

専	准教授	藤原　まみ	平成27年4月	比較文学・文化論 TOEIC準備 TOEIC Basic Study Basic Speaking Basic Listening TOEFL Study 1 Listening 1 Writing 1 Reading 1 Listening 2 Reading 2 TOEFL Study 2 TOEFL Study 3 TOEIC Study 3 多文化コミュニケーションセミナー グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	専	准教授	藤原　まみ	平成28年4月	比較文学・文化論 TOEIC準備 TOEIC Basic Study Basic Speaking Basic Listening TOEFL Study 1 Listening 1 Writing 1 Reading 1 Listening 2 Reading 2 TOEFL Study 2 TOEFL Study 3 TOEIC Study 3 IELTS Study1 IELTS Study2 IELTS Study3 多文化コミュニケーションセミナー Academic Writing グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	平成28年2月 教員審査済（28） 平成28年2月 教員審査済（28）
					専	准教授	ARIEL SORENSEN	平成28年9月	TOEIC準備 TOEIC Basic Study Basic Writing Speaking 1 Listening 1 Speaking 2 Listening 2 TOEIC Study 1 TOEIC Study 2 TOEIC Study 7 TOEIC Study 8 IELTS Study1 IELTS Study2 IELTS Study3 多文化コミュニケーションセミナー Comprehensive English of Culture and Society 1 Comprehensive English of Culture and Society 2 Comprehensive English of Culture and Society 3 Comprehensive English of Culture and Society 4 グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	平成28年6月 変更書提出予定（28）
専	准教授	堀家　敬嗣	平成27年4月	国際総合科学総論※ 文化の継承と創造２（表象文化論） 現代日本文化論 文化・社会論演習Ⅰ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	准教授	赤井　光治	平成27年4月	情報リテラシー演習 ICT演習Ⅰ ICT演習Ⅱ 物質・エネルギー・環境Ⅰ 物質・エネルギー・環境Ⅱ 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						

専	准教授	EDWARDS NATHANIEL TYLER	平成27年4月	TOEFL Study 1 Speaking 2 Writing 2 TOEFL Study 2 TOEFL Study 3 TOEIC Study 4 TOEIC Study 5 TOEIC Study 6 多文化コミュニケーションセミナー Comprehensive English of Science and Technology 1 Comprehensive English of Science and Technology 2 Comprehensive English of Science and Technology 3 Comprehensive English of Science and Technology 4 グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	専	准教授	EDWARDS NATHANIEL TYLER	平成28年4月	TOEIC準備 TOEIC Basic Study Basic Speaking Basic Listening TOEFL Study 1 Speaking 2 Writing 2 TOEFL Study 2 TOEFL Study 3 TOEIC Study 4 TOEIC Study 5 TOEIC Study 6 IELTS Study1 IELTS Study2 IELTS Study3 多文化コミュニケーションセミナー Academic Writing Comprehensive English of Science and Technology 1 Comprehensive English of Science and Technology 2 Comprehensive English of Science and Technology 3 Comprehensive English of Science and Technology 4 グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	平成27年2月 教員審査済（27） 平成28年2月 教員審査済（28） 平成28年2月 教員審査済（28）
専	准教授	小川　仁志	平成27年4月	国際総合科学総論※ 日本文化論 科学技術と公共哲学※ 現代日本思想論 現代アジア文化論※ 国際哲学 文化・社会論演習Ⅰ 文化・社会論演習Ⅱ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	専	准教授	小川　仁志	平成29年4月	国際総合科学総論※ 日本文化論 哲学 現代アジア論 科学技術と公共哲学※ 現代日本思想論 現代アジア文化論※ 国際哲学 文化・社会論演習Ⅰ 文化・社会論演習Ⅱ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	平成28年6月 変更書提出予定（28）
専	准教授	杉井　　学	平成27年4月	情報リテラシー演習 ICT演習Ⅰ ICT演習Ⅱ 生物多様性Ⅰ 生物多様性Ⅱ バイオテクノロジーⅠ バイオテクノロジーⅡ 科学技術とリスクコミュニケーション※ 地球環境と持続可能性 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	准教授	阿部　　新	平成27年4月	国際総合科学総論※ 経済と法１（経済学） 環境経済論 国際経済論 文化・社会論演習Ⅲ 文化・社会論演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						

専	准教授	山田　隆志	平成27年4月	経済と法２(経営学) ビックデータと経営戦略 経営組織論 文化・社会論演習Ⅱ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	准教授	松田　　憲	平成27年4月	デザインの心理学 コミュニケーションと創造的思考 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						平成28年3月　松田　憲 一身上の都合により辞任 (28) 「デザインの心理学」及び「コミュニケーションと創造的思考」は,本人が兼任教員として引き続き担当し，その他の科目は当人以外に複数の担当教員がいるため支障はないと考える。
専	准教授	徳久　　悟	平成27年4月	デザイン科学入門Ⅰ デザイン科学演習Ⅰ デザイン科学演習Ⅱ デザイン科学演習Ⅲ デザイン科学演習Ⅳ メディア・デザイン 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 現代アジア文化論※ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	准教授	永井　涼子	平成27年4月	国際総合科学総論※ 日本企業文化理解 コミュニケーション概論 多文化コミュニケーションセミナー グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	講師	CRUZ GUERRA CHRISTIAN FRANCISCO	平成27年4月	国際総合科学総論※ デザイン科学演習Ⅰ デザイン科学演習Ⅱ デザイン科学演習Ⅲ デザイン科学演習Ⅳ ビジュアル・コミュニケーション・デザイン 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ デザイン英語 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	講師	東島　　仁	平成27年4月	国際総合科学総論※ ロジカルシンキング入門 ロジカルシンキング演習 科学技術倫理 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						

専	講師	山本　冴里	平成27年4月	国際総合科学総論※ 言語学習の理論と実践Ⅰ 言語学習の理論と実践Ⅱ 多文化コミュニケーションセミナー グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	講師	冨本　浩一郎	平成27年4月	デザイン科学入門Ⅱ デザイン科学演習Ⅰ デザイン科学演習Ⅱ デザイン科学演習Ⅲ デザイン科学演習Ⅳ インクルーシブデザイン 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	助教	中尾　　央	平成27年4月	国際総合科学総論※ 科学技術哲学 ロジカルシンキング入門 ロジカルシンキング演習 科学技術思想 科学技術とリスクコミュニケーション※ 科学技術と公共哲学※ 科学技術政策 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
専	助教	秋谷　直矩	平成27年4月	国際総合科学総論※ ロジカルシンキング入門 ロジカルシンキング演習 科学技術コミュニケーション 情報化社会論 科学技術論演習Ⅰ 科学技術論演習Ⅱ 科学技術論演習Ⅲ 科学技術論演習Ⅳ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						
					専	助教	PARK HEEWON	平成27年4月	統計学入門Ⅰ 統計学入門Ⅱ 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ データ分析と統計学 科学技術論演習Ⅱ 多文化コミュニケーションセミナー 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究	平成27年2月 教員審査済（27）

専	助教	仁平　千香子	平成27年4月	現代日本学 Academic Writing Translation Interpretation 多文化コミュニケーションセミナー グローバル・コミュニケーション演習Ⅰ グローバル・コミュニケーション演習Ⅱ グローバル・コミュニケーション演習Ⅲ グローバル・コミュニケーション演習Ⅳ 基礎セミナー 山口と世界 課題解決能力演習 プロジェクト型課題解決研究						

【　兼担・兼任　】

（１）　担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	纐纈　厚 高	平成27年4月	歴史学 政治学 現代アジア論 近現代日本史 現代日本政治論 国際政治論	兼任	講師	纐纈　厚	平成28年4月	歴史学 近現代日本史 現代日本政治論 国際政治論	
					兼担	教授	植村　高久	平成28年4月	現代アジア論	
					兼担	教授	渡邉　幹雄	平成28年4月	政治学	
兼担	教授	岡村　康夫 高	平成27年4月	人間の発達と育成１（宗教学）						
兼担	教授	朝日　孝尚	平成27年4月	自然科学１	兼担	教授	白石　清	平成27年4月	自然科学１	
					兼担	教授	宮澤　康行	平成27年4月	自然科学１	
					兼担	教授	坂口　有人	平成27年4月	自然科学１	
兼担	教授	進士　正人	平成27年4月	環境と人間	兼担	教授	内藤　裕志	平成27年4月	環境と人間	
					兼担	教授	木戸　尚治	平成27年4月	環境と人間	
					兼担	教授	大林　正直	平成27年4月	環境と人間	
					兼担	教授	石川　昌明	平成27年4月	環境と人間	
					兼担	教授	中村　秀明	平成27年4月	環境と人間	
					~~兼担~~	~~教授~~	~~多田村　克己~~	~~平成27年4月~~	~~環境と人間~~	
					兼担	教授	松藤　信哉	平成28年4月	環境と人間	
					兼担	准教授	藤原　勇	平成28年4月	環境と人間	
兼担	教授	成富　敬	平成27年4月	経済と法３（法学）	兼担	准教授	櫻庭　総	平成27年4月	経済と法３	
兼担	教授	小林　淳	平成27年4月	食と生命	兼担	教授	阿座上　弘行	平成27年4月	食と生命	
兼担	教授	山崎　鈴子	平成27年4月	自然科学２	兼担	教授	宮川　勇	平成27年4月	自然科学２	
					~~兼任~~	~~講師~~	~~田頭　昭二~~	~~平成27年4月~~	~~自然科学２~~	
兼担	教授	何　暁毅	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼担	教授	平尾　元彦	平成27年4月	キャリア教育（キャリア・デザインⅡ）						

兼担	准教授	白澤　文吾	平成27年4月	社会と医療	~~兼担~~	~~教授~~	~~玉田　耕治~~	~~平成27年4月~~	~~社会と医療~~	
					~~兼担~~	~~教授~~	~~古川　裕之~~	~~平成27年4月~~	~~社会と医療~~	
					~~兼担~~	~~講師~~	~~徳重　厚典~~	~~平成27年4月~~	~~社会と医療~~	
					~~兼担~~	~~助教~~	~~佐古田　幸美~~	~~平成27年4月~~	~~社会と医療~~	
					~~兼担~~	~~助教~~	~~安達　圭志~~	~~平成27年4月~~	~~社会と医療~~	
					兼担	教授	美津島　大	平成28年4月	社会と医療	
					兼担	准教授	末廣　寛	平成28年4月	社会と医療	
					兼担	講師	森重　直行	平成28年4月	社会と医療	
					兼担	講師	柳井　亮二	平成28年4月	社会と医療	
					兼担	助教	木田　裕之	平成28年4月	社会と医療	
					兼担	助教	石川　淳子	平成28年4月	社会と医療	
					兼担	助教	﨑本　裕也	平成28年4月	社会と医療	
兼担	准教授	林　　透	平成27年4月	知の広場(キャリア・デザインⅠ)						
兼担	准教授	北川　　創	平成27年4月	国際知財戦略論	兼担	准教授	大塚　裕一	平成28年4月	国際知財戦略論	
兼担	准教授	林　寛子	平成27年4月	社会学 社会調査法Ⅱ						
兼担	准教授	村上　　龍	平成27年4月	哲学	兼担	教授	脇條　靖弘	平成28年4月	哲学	
兼任	講師	朴　賢珠	平成27年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ						
兼任	講師	那須　朱実	平成27年4月	TOEIC Study 1 TOEIC Study 2 TOEIC Study 7 TOEIC Study 8	兼任	講師	那須　朱実	平成28年4月	TOEIC Study 1 TOEIC Study 2 TOEIC Study 7 TOEIC Study 8 TOEIC準備 TOEIC Basic Study	
					兼任	教授	松田　憲	平成28年4月	デザインの心理学 コミュニケーションと創造的思考	
兼任	講師	JOHNSON BENJAMIN	平成27年4月	Basic Writing Speaking 1 Comprehensive English of Culture and Society 1 Comprehensive English of Culture and Society 2 Comprehensive English of Culture and Society 3 Comprehensive English of Culture and Society 4						

（注）・　設置計画書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２８年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。
・　**「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。**

（２） 専任教員数等

（２）－① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計（Ａ）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（Ｂ）
8	12	5	3	28	8	12	4	4	28	10	12	4	4	30
(8)	(12)	(5)	(4)	(29)						[2]		[△1]	[1]	[2]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（Ａ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｂ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	1 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２８年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし				

合計（A）			後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
該当なし　　人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○ 科目
	選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○ 科目
	自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○ 科目
	計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○ 科目

（注）・　設置時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	松田　憲	必修	デザインの心理学	②	一身上の都合により辞任（28）
			選択	コミュニケーションと創造的思考	②	
			選択	科学技術論演習Ⅰ	①	
			選択	科学技術論演習Ⅱ	①	
			選択	科学技術論演習Ⅲ	①	
			選択	科学技術論演習Ⅳ	①	
			必修	多文化コミュニケーションセミナー	①	
			必修	基礎セミナー	①	
			必修	山口と世界	①	
			必修	課題解決能力演習	①	
			必修	プロジェクト型課題解決研究	①	

合計（C）			後任補充状況の集計（D）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　　人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	1	科目	必修	0 科目
	選択	5	科目	選択	4	科目	選択	1	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	11	科目	計	9	科目	計	2	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（A）＋（C）				後任補充状況の集計（B）＋（D）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　　人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	1	科目	必修	0 科目
	選択	5	科目	選択	4	科目	選択	1	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	11	科目	計	9	科目	計	2	科目	計	0 科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。
・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
「デザインの心理学」及び「コミュニケーションと創造的思考」は本人が兼任教員として引き続き担当し，その他の科目は当人以外に複数の担当教員がいるため支障はないと考える。
「学生への周知方法」
在学生には、4月のオリエンテーションの際に周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （平成27年4月）	本学部における「デザイン科学」の定義や教育課程における位置付け・役割と、科学技術リテラシー科目・コア科目・展開科目等の各科目群との接続性・体系性をよりわかりやすく整理した上で、その特色が活かされるよう教育課程を不断に検証して必要な見直しを図るとともに、学生に対する分かりやすい説明に努めること。	留意事項	新入生オリエンテーション（別添１）において，「履修の手引き」（別添２）を用いて「山口大学能力基盤型カリキュラムシステム(YU CoB CuS)」や「科目ナンバリング」などの内容を基に，各科目群の接続性・体系性を整理し分かりやすく説明した。（27）	
	デザイン科学の定義やデザイン科学に関する授業科目の説明に当たり、用語のばらつきやニュアンスの異なる文言が使用されており、学生に対して分かりやすい説明を行う観点から、使用する用語を統一するなど、適切に改めること。	留意事項	シラバス作成時に，デザイン科学の定義を明確にし，使用する用語の統一を図った。 新入生を対象としたフレッシュマンセミナーにおいて，デザイン科学の定義を説明（別添３）すると共に，具体的事例を挙げ，より理解を深めつつ，今後，国際総合科学部において学修する内容を明確化した。（27）	
	アジア諸国で活躍できる人材を養成する観点から，教育課程の中にＡＳＥＡＮ諸国等に関する内容についても，より充実させることが望ましい。	その他意見	教科書・辞書等の教材を揃え，各国・地域の言語を自律的に学習する環境を整備した。 また，多言語学習室として，アジア諸国を中心に，その他の国・地域の言語を学生が自律的に学習出来る環境を整備している。（27）	
	プロジェクト型課題解決研究について，４年次通年の１０単位科目となっているが，単位設定の考え方を明確にし，教育の質を担保する観点から，適切に授業運営を行うことが望ましい。	その他意見	本授業は企業・自治体・NPOなどとの連携のもと，実社会に存在する課題に対して学生のチームがプロジェクトを立ち上げ遂行するものである。企業等学外での活動と学内での活動を通しての学修を通年で行うことで10単位分の授業となる。10単位の質と量を保証するためには担当教員の役割が重要となる。学生の活動は学生が主体的に行うものであるが，チームごとに担当教員が存在する。担当教員は４年次通年で毎週1回以上学生を指導する。量の保証として，学生の主体的活動については，毎週学生から活動時間の報告を受け，通年で10単位の時間数である週15時間，年間450時間の学修を確保する。また，質の保証として，学生からの報告に基づき指導を行う他，教員は連携企業等とも密接な関係を形成し，教員が同行することだけでは把握しきれない内容についても，企業等から密に情報を提供してもらうことで，活動内容を把握し，適切な指導を行う。（27）	

設　置　時 （平成27年4月）	グローバルインターンシップ演習について，国内の企業等において国際的な業務に関わるインターンシップの実施とあるが，その実施内容について，学生に誤解を与えないよう分かりやすく説明するとともに，必要に応じて名称を変更することが望ましい。また，適切な実施が可能となるよう，インターンシップ受け入れ先の確保に万全を期すことが望ましい。	その他意見	インターンシップ受け入れ先として，美祢市に拠点を置く日本美祢市台北観光・交流事務所を新たに確保した。当該事務所は，美祢市－台北市間の交流を深めるため，台北市内に観光事務所を開設しており，台湾からの依頼を受けた観光事業にも取り組んでいくことになっている。その計画に学生をインターンシップとして参加させる。 その他，JTB総合提携店NTAトラベルにおいて，海外現地ホテルとの取引を行う海外オペレータ業務などに従事し，実際に海外旅行計画の立案をする等のインターンシップも確保した。　（27）	授業の実施内容については，学生に誤解を与えないよう，シラバス作成時に具体例を挙げるなど詳細な説明を行う。（27）
	本学部が目指す文理融合教育を確実に実施する観点から，理系科目の更なる充実を図るとともに，学年進行期間中に理系のバックグラウンドを有する教員及び，文系・理系のバックグラウンドを有する学際系の教員の更なる充実を図ることが望ましい。	その他意見	理系科目の更なる充実を図るため，新たに理系のバックグラウンドを有する教員を1名雇用した。（平成27年2月教員審査において判定可。）（27）	
	教育課程の内容に照らし，国際総合科学部の名称を含め，学生にとって養成する人材像や教育内容を分かりやすく説明するとともに，必要に応じて例えば，「国際科学教養学部」といった名称への変更を含め検討することが望ましい。	その他意見	新入生オリエンテーション及びフレッシュマンセミナーにおいて，養成する人材像及び教育課程，教育内容について詳細な説明を行った。 また，県内外を含め高校訪問を行い，養成する人材像及び教育課程，教育内容について詳細に説明し，意見交換を行った。 その他，新聞記事への掲載や，全国版テレビ放送による２時間特集などマスメディアを活用し，国際総合科学部の名称を周知すると共に，国際総合科学部の養成する人材像等を紹介した。（27）	

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時に付された留意事項と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　**「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。**

７　その他全般的事項

＜国際総合科学部　国際総合科学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
①　入学者選抜の概要 募集人員 一般入試(前期日程)　90名 一般入試(後期日程)　10名	①　平成29年度からＡＯ入試を導入することに伴い，募集人員を以下のとおり変更する。 一般入試(前期日程)　80名 一般入試(後期日程)　10名 特別入試　ＡＯ入試　10名

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
・　**「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。**

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

ＦＤ委員会を設置し，ＦＤ研修の企画・実施を行っている。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

必要に応じて開催している。

ｃ　委員会の審議事項等

・FDの推進に関する実施計画
・教員研修の実施計画
・教育内容や方法等の改善策

②　実施状況

ａ　実施内容

セントラルフロリダ大学上席研究員　原准教授講演((平成27年７月８日))
海外留学について(平成27年７月15日)
「山口と世界」について(平成27年８月３日)
「課題解決演習」について(平成27年８月10日)
「プロジェト型課題解決研究」について(平成27年12月２日)
「多文化コミュニケーションセミナー」について(平成27年12月16日)
「プロジェト型課題解決研究」について(平成28年２月18～19日)
「多文化コミュニケーションセミナー」について(平成28年３月16日)
「プロジェト型課題解決研究」について(平成28年３月19日)

ｂ　実施方法

FD委員会を中心に実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

平成27年７月８日　21名出席
平成27年７月15日　28名出席
平成27年８月３日　20名出席
平成27年８月10日　27名出席
平成27年12月２日　22名出席
平成27年12月16日　17名出席
平成28年２月18～19日　19名出席
平成28年３月16日　12名出席
平成28年３月19日　23名出席

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修を通じ全教員が本学部が養成する人材について，理解を深め，共通認識を持った上で授業を運営できるよう意見交換を行った。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

各クォーター終了時に実施

b　教員や学生への公開状況，方法等

アンケート終了後，担当教員のみに結果を通知

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・**「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。**

（３）自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成２７年度に開設し，現在まで順調に進んでいる。引き続き，設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

②　自己点検・評価報告書

a　公表（予定）時期

・平成２９年３月公表予定

b　公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③　認証評価を受ける計画

平成２７年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度は検討中。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・　**「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。**

（４）情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

a　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

b　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　２８　年　９　月　１　日　）